

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

△警告 - 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**

△注意 - 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

△注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。

使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。

また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。

△注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。

〔スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン
ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック〕

△注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品番	積載物の制限(単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
SA-37	2450	1150	600



取扱い上の注意

△警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。

→締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。

△警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。

△警告 キャリアの装着時は特に法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。

△警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。

△注意 積載物をキャリアに固定する際は、脚部、を利用してロープ等で固定しないでください。

→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。

△注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。

→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。

△注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。

→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。

△注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください

→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。

△注意 キャリアの装着及び荷物を積載して走行する場合は車高が高くなる為、運転特性が変化します。運転は十分ご注意ください。

又、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合にも十分ご注意ください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意ください。(対外規格は取得しておりません。)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

(1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)

(2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの

(3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

名古屋市守山区元郷2-107 TEL 052-778-7876 FAX 052-778-7718

<http://www.rocky.ne.jp>

rocky@rocky.ne.jp

ROCKY ROOF CARRIER

SAシリーズ 取扱い説明書

品番 / SA-37 ウェイク・ハイゼットキャディ専用

この度は、ロッキールーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。

製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

ご使用前に

△警告 本製品は、ダイハツ/ウェイク(LA700S系)・ハイゼットキャディ(LA700V系)専用キャリアになります。他の車両には取付けしないでください。

△警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。

本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。

「例」 部品類の穴あけ加工・溶接
市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載
本製品以外の部品による組立て及び、部品交換
荷受部の全面に合板等を敷く・看板等の取付け

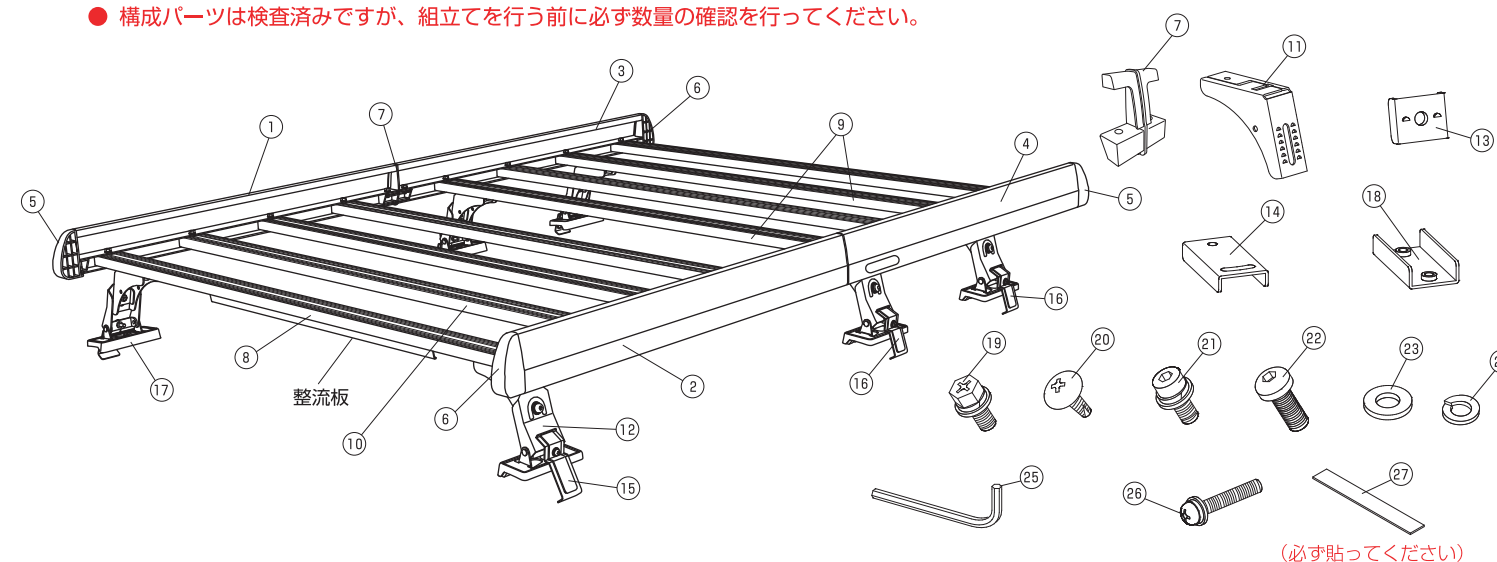
△警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。

△注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。
キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。

△注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。
又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。
裏面、「積載物と積載物の制限について」をよくお読みください。

構成パーツ

● 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。

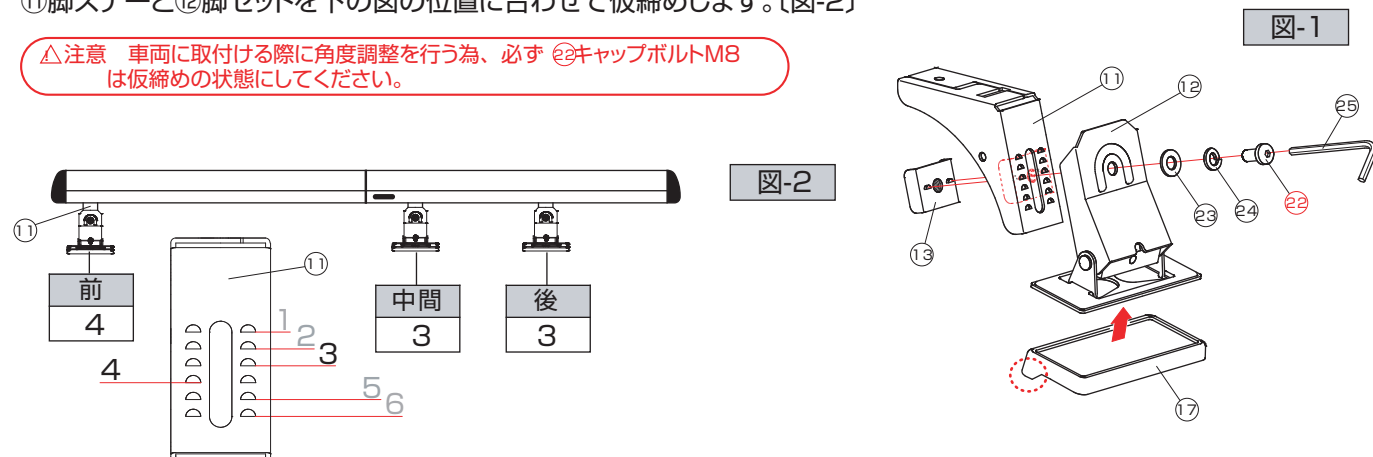


No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム(前右)	1	⑨	脚フレーム	2	⑰	ベースゴム(TYPE2)	6	②⑤	L型レンチ	1
②	サイドフレーム(前左)	1	⑩	荷台フレーム	5	⑱	ナットプレート	6	②⑥	⊕丸ネジセット M6	6
③	サイドフレーム(後右/品番A*1付)	1	⑪	脚ステー	6	⑲	⊕六角ボルトセットM6	20	②⑦	塩ビテープ	6
④	サイドフレーム(後左/品番A*1付)	1	⑫	脚セット	6	⑳	⊕タッピングビス5ミリ	4			
⑤	先端キャップ(R)	2	⑬	ステーナット	6	㉑	キャップボルトセットM6	12			
⑥	先端キャップ(L)	2	⑭	ステープレート	6	㉒	キャップボルトM8	6			
⑦	中間ジョイント	2	⑮	前用取付フック	2	㉓	平座金 M8	6			
⑧	脚フレーム(整流板付)	1	⑯	中間・後用取付フック	4	㉔	バネ座金 M8	6			

組立て方法①

- 1 ⑫脚セットに⑰ベースゴムの凸部が奥になるように注意して組付けます。〔図-1〕
⑪脚ステーと⑫脚セットを下の図の位置に合わせて仮締めします。〔図-2〕

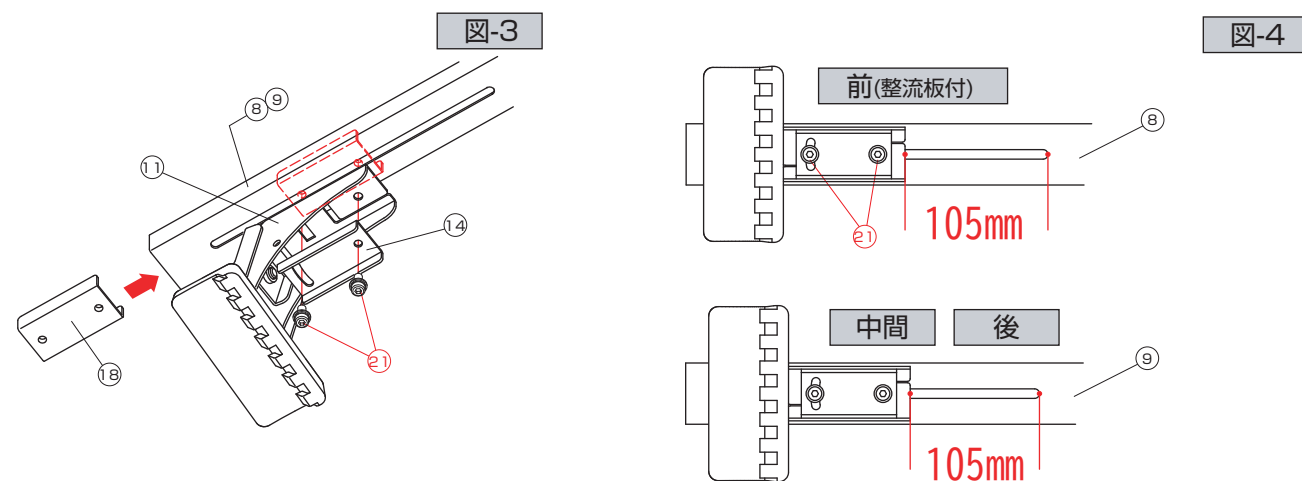
△注意 車両に取付ける際に角度調整を行う為、必ず ⑫キャップボルトM8は仮締めの状態にしてください。



- 2 3種類の脚フレームセットを組み立てます。〔前〕〔中間〕〔後〕

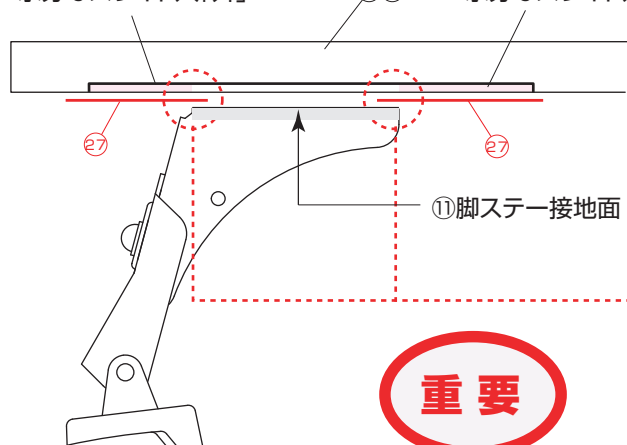
⑧⑨脚フレームに⑮ナットプレートを通します。⑪脚ステーの裏に⑭ステープレートの長穴の向きに注意してかませ、⑪キャップボルトセットM6にて下記寸法に従って仮締めします。〔図-34〕
※〔中間〕と〔後〕は同じ脚フレームセットになります。

△注意 車両に取付ける際にキャリア幅の調整を行う場合がある為、⑪キャップボルトセットM6は仮締めの状態にしてください。



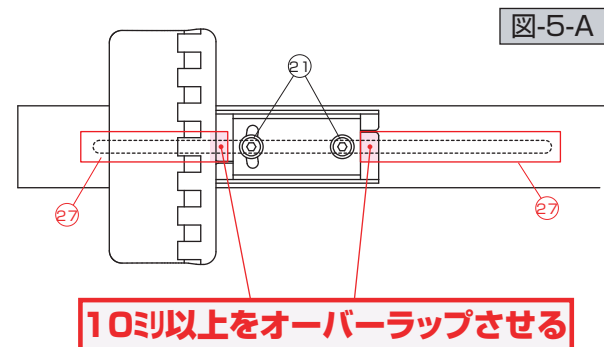
- 3 ⑧⑨脚フレームと⑪脚ステーの接地面に対し「内」と「外」に分割される余分なスライド穴を 塩ビテープで塞ぎます。〔図-5〕 塩ビテープは必要な長さにカットして⑪脚ステーの接地面より10ミリ以上をオーバーラップ(重複)するように貼ってください。〔図-5-A〕 ⑫キャップボルトセットM6は〔取付け方法①/2〕で本締めします。

余分なスライド穴「外」 余分なスライド穴「内」



重要

図-5

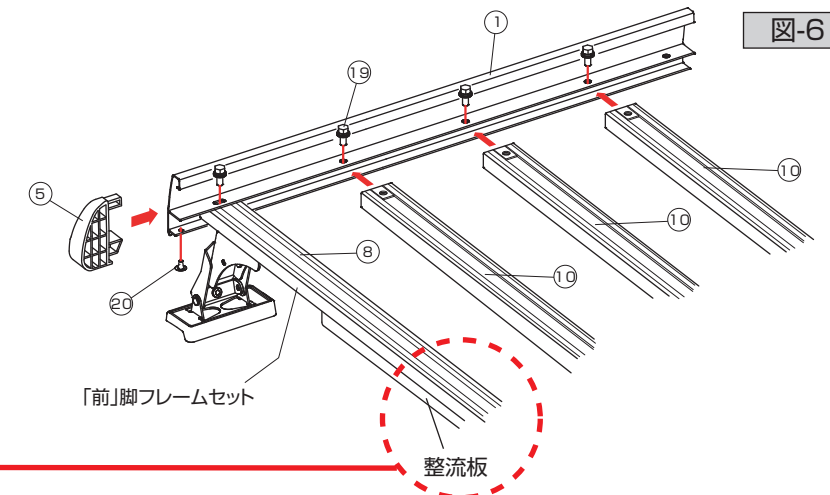
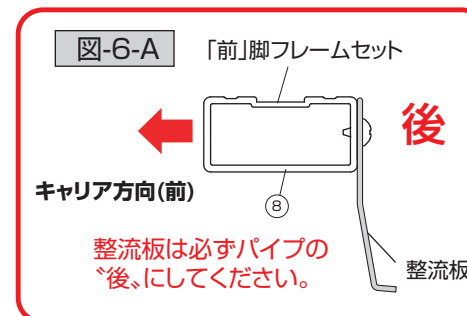


10ミリ以上をオーバーラップさせる

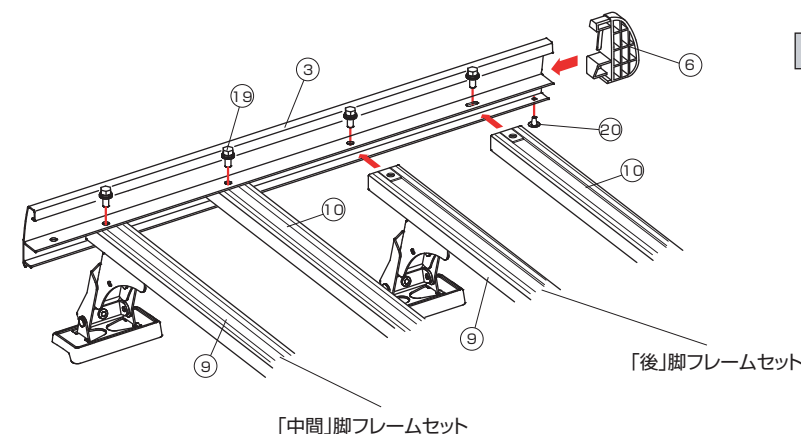
△注意 スライド穴は確実に塞がないと走行時に笛を吹いたような異音が発生します。また、雨天や洗車時に⑧⑨脚フレームの中に水が入りサビ発生の原因となります。その為、塩ビテープはお忘れなく必ず貼ってください。そして貼る際には必ず10ミリ以上をオーバーラップ(重複)するように貼ってください。

組立て方法②

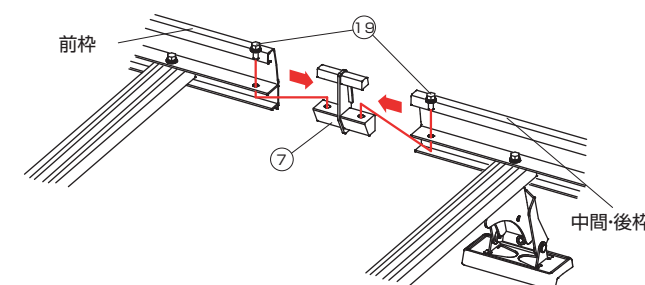
- 4 ①②サイドフレーム(前/左右)に「2」で組立てた「前」脚フレームセット(整流板付)と⑩荷台フレームを⑲⑳六角ボルトセットM6で組付け、①②サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み下から⑳⑳タッピングビス5ミリで固定します。〔図-6〕
この時、「前」脚フレームセットを①②サイドフレームに差込む際は「整流板」が必ずパイプの「後」にある状態で差込んでください。〔図-6-A〕パイプの「前」に整流板があると高速走行時に「異音」が発生します。



- 5 「4」同様に③④サイドフレーム(後/左右/品番ラベル付)に「2」で組立てた「中間」「後」脚フレームセットと⑩荷台フレームを⑲⑳六角ボルトセットM6で組付け、③④サイドフレーム先端に⑤⑥先端キャップ(R/L)をはめ込み、下から⑳⑳タッピングビス5ミリで固定します。〔図-7〕



- 6 「4・5」で組立てた前枠と中間・後枠を⑦中間ジョイントにて繋ぎ合わせ、⑲⑲六角ボルトセットM6でしっかりと固定します。〔図-8〕



取付け方法①

- 1 屋根の周辺の埃や汚れをきれいに拭き取ります。
車両リアガラスの上部左端から**190ミ**前方の所にキャリアの[後]脚セットの中心が来るようにキャリアを載せます。〔図-9〕

△注意 キャリアを屋根に載せる際は多人数でゆっくりとキズを付けないように行ってください。

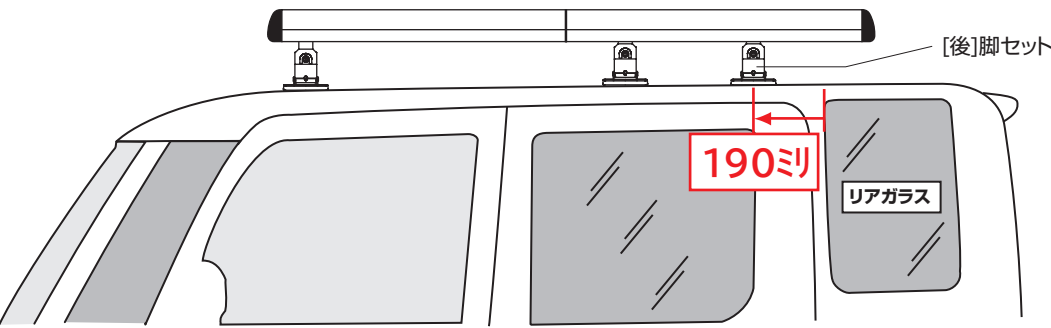


図-9

- 2 次に正面から見て、キャリアがルーフの中央にあるかを確認します。〔図10〕
そして[前][中間][後]の⑰ベースゴム凸部をルーフの手前の壁に当て、ベースゴム凸部先端が樹脂モールの上に
乗っている状態に調整します。〔図-10-A〕
調整後、仮締め状態の⑪脚ステーの中の ⑫トップボルトセットM6と ⑬トップボルトM8をしっかり締付けます。〔図-10〕

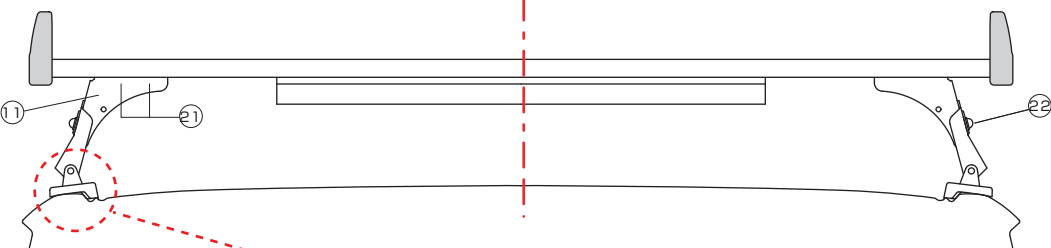


図-10

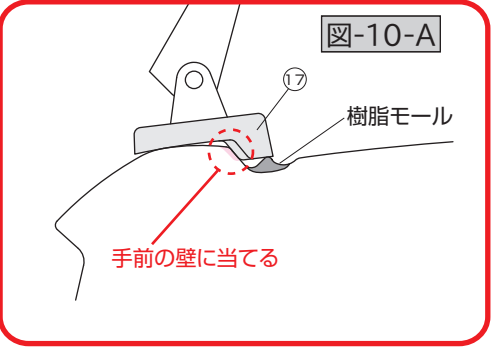


図-10-A

取付け方法②

- 3 ⑮前用取付フックはドアを開けて[前]脚セットへ、⑯[中間・後]用取付フックもドアを開けて[中間][後]脚セットへ、フック上端を脚セットに当てがい[A]部を指で押さえながら ⑭⑮⑯セットM6にて6ヵ所均等にしっかり締付けてください。〔図-10〕

△注意 必ず取付フックを取付ける際は[A]部を指で押さえながら、ゆっくり6ヵ所均等に締付けを行ってください。
片側を一方向的に締め付けてしまうと取付フックが外れやすくなってしまいます。

△注意 取付フックを取付ける際はドアを開けた状態で行ってください。閉めた状態で行うとウェザーストリップの端がフックの先端部に挟まれてドアを開けた際にウェザーストリップがちぎれてしまうことがあります。
特に[中間・後]のスライドドア部はウェザーストリップを挟みやすいので十分に注意して行ってください。
〔図-10-A〕

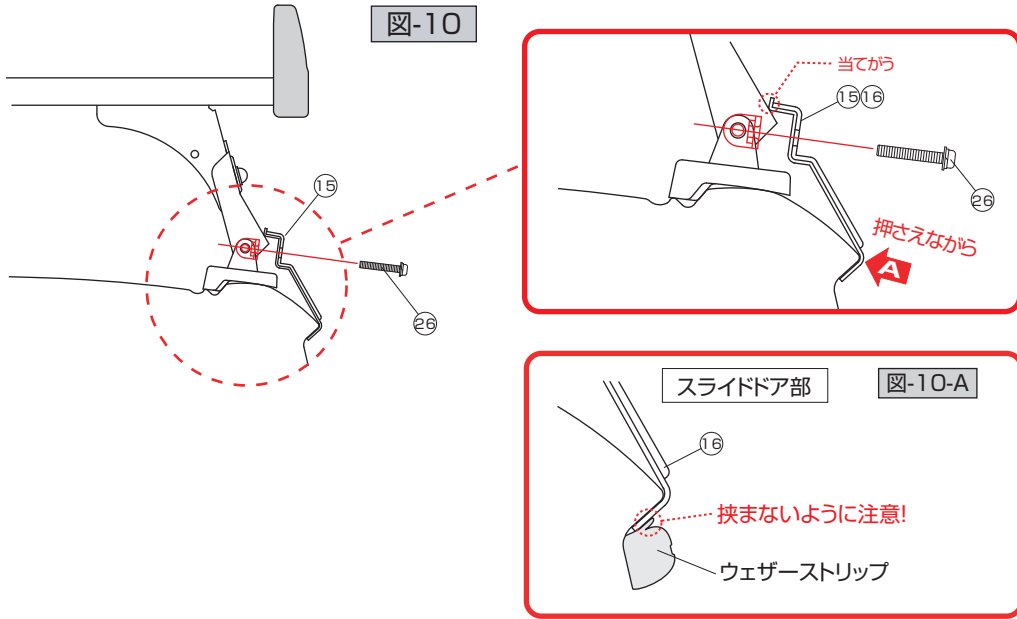
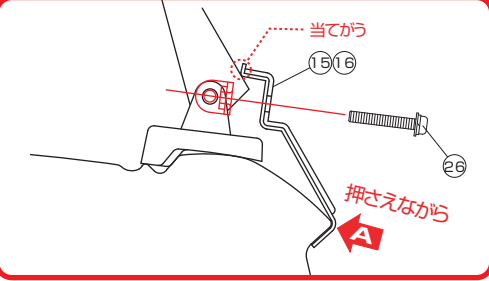


図-10



スライドドア部

図-10-A

- 4 最後に各締め付け部にユルミや締め忘れがないか確認の上、下記注意事項を守り安全に使用してください。

△注意:キャリア取付け後の確認を！！

- キャリアを前後左右に揺すり、ズレ、やゝガタツキ、が無い事を確認してください。
- キャリアを手のひらで数ヶ所叩いて、各締め付け部にユルミがないかを確認してください。
ユルミがある場合はゝビビリ音、がします。
- キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。しばらくの間は締め付け部の増締めを習慣に行ってください。しばらくすると車両とキャリアが馴染んできて締め付け部は緩まなくなります。